

技術職員の活動内容報告

学校名	函館工業高等専門学校	報告者	松井 春美
活動内容			
1. 技術教育支援センター新体制発足			
<p>昨年度のSD研修会で高橋センター長から報告させていただきましたが、平成30年4月から技術教育支援センターは3グループ制から3班制に組織改編を実施しました。現在、センター長、副センター長の下、土木系の新任職員1名、土木系の再雇用職員1名を含めた計15名が所属しています。</p> <p>機械加工技術班(機械系職員5名)、分析機器・環境技術班(化学系職員2名と土木系職員3名)、電気電子・情報技術班(情報系職員2名と電気電子系職員1名)の3班体制となりました。これまでの組織は各グループ員の技術分野が混同していたため、教員などから加工や分析などの業務依頼をどのグループに頼めば良いか分かりづらいとの指摘を受けていました。それを改善する意味で各職員の専門性が分かりやすい組織へと改めました。また組織改編に伴って席替えも実施しましたので、技術教育支援センターを訪れた方が相談しやすい雰囲気づくりも実現できました。</p> <p>技術教育支援センター内ではこれまでの内部業務の担当者を一部交替し、活性化を図りました。新しくなった班単位での班会議と並行して内部業務班会議も月に一度開催し、連携を密に取っています。</p>			
2. 共同利用施設利用申請方法の変更			
<p>昨年度までサイボウズ(株)のグループウェア・ガルーンの一機能であるワークフローを使って、共同利用施設(実習工場、創造工房、電子顕微鏡室、X線室)の利用申請を受け付けていました(平成26年10月～平成30年3月)。昨年度末をもってガルーンの契約更新を行わないことが決定し、代替手段が必要となりました。そこでOffice 365のSharePointを使って利用申請ワークフローを作成し、平成30年度4月から運用しています。本校のホームページ内の共同利用施設のページから本校教職員のみアクセス可能としています。</p>			
3. テクノセンター分析機器管理支援について			
<p>本校オープンファシリティ使用規程が制定されたことに伴い、テクノセンター長から技術教育支援センターへ該当機器が設置されている3部屋の管理支援要望がありました。現在、利用記録簿を各部屋に設置し、分析機器・環境技術班員が朝・夕の2回巡回・点検を実施しています。</p>			
4. センターの業務活動(平成30年4月1日～平成31年2月12日時点)			
<p>①授業支援:前期・93科目、後期・112科目、②製作依頼:32件、③製作指導(技術指導):5件、④その他学内業務依頼(学校行事等):10件、⑤技術相談:2件、⑥函館高専紀要投稿:2件、⑦研修出張:20件、⑧出前講座:2件、⑨公開講座:1件、⑩外部講座講師:1件、⑪テクノセミナー:2件</p>			